

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー
2009.12.1
No.65

九月に二人のクリスチャン女性が天に召されたことを先々に報告しましたが、十一月二十五日には兄弟(同じ教会のクリスチャン男性)が召されました。十月二十六日に肺がんの告知を受けてからちょうど一カ月後のことでした。

教会のメンバーたちにとっては、次々と大きな悲しみが押し寄せてきます。その中で自分たちの信仰が問われています。クリスチャンたちの歩みの中にも、病、死、事故、また思わぬ出来事は起こります。創造主から離れたこの世界に住んでいる限り、不安を引き起こすようなことは必ず起こるのです。しかし、創造主はそのような中であって平安を得る秘訣を示し、実際に与えてくださいます。「我慢」ではありませんし、その場しのぎの外見だけの慰めでもありません。困難「から脱出して」得る平安ではなく、困難「の中で」得る平安なのです。

そして、この度の「困難」の中からは「平安」だけではなく、思ってもみなかった「神の愛、家族の愛、和解、赦し」について深く教えられました。

召されたM兄弟は、ご年配になってクリスチャンになりました。若いときから培ったライフスタイルを変えるのは容易なことではなかったでしょう。家族の中では心の行き違いもあった



覚えて兄弟を天に召す



ようです。以下は、長女である姉妹が「偲ぶ集い」の中で語られたことばです。

『父との良い思い出は何一つない。』とつい一カ月前までは、こうお話しするしかないと感じていました。小さいとき父との思い出はほとんどなく、家族旅行も、外食もなく、会話もない暗い家庭でした。一番悲しかったことは母に冷たかったことです。…でも、そんな父もクリスチャンになり、少しは変わりましたけれども、心を通わすのは難しかったです。教会では大きな声で話したり、笑ったり、冗談を言い合ったりしていました。家では見たこともなかったもので、父もこんなことを言うのかなあと思いました。…(癌の)告知をした後いろいろなことを話しました。つらかったこと、悲しかったこと。憎んでいたこと。…それからです。

本当に父は主によって変えられました。母にも心から謝りました。痛みが増し、苦しい中でも、下の世話をする母に「いつもありがとう」というのです。…口から出るのは感謝のみでした。『お父ちゃん、変わったなあ』と言うと『今までが悪すぎた。これが普通や。』と言いました。『…人がしんどい時こうい言葉をかけないといけない、ということが初めて分かった。神さまに気づかせてもらってよかった。自分が変わると、周りも変わるんやなあ。』…今までの父しか知らない人は信じられないでしょう。本当に父はこれまで信

仰は持っていました。長い間持っていない人のように生きてきました。しかし、この病になってから百八十度に変えられ、…家族思いの父になりました。今は心から言えます。『お父ちゃん、大好き。今までありがとう。』この一カ月前最高に幸せでした。もうこの地上では会えなくなりましてけれど、天国でもう一度会って、永遠に交わりが持てるのが楽しみです。神さまを信じる家族の素晴らしさを、今私たちは味わっています。会えない悲しみがありますが、喜びに満ち溢れています。父が私たちに残してくれた愛のおかげです。参列してください。みなさん。今までの父をお許しください。』(途中要約、改変あり)

「あなたがたは、死者の中からこのキリストをよみがえらせて彼に栄光を与えられた神を、キリストによって信じ人々です。このようにして、あなたがたの信仰と希望は神にかかっているのです。」

(第一ペテロ一章十一節)

家族の中でそのようなことがあったとは、またどのような信仰生活だったか知らないことばかりでした。大変な時もありましたが、見事な逆転劇を見ました。私たち人間は弱いものです。それは信仰者になっても同じです。ただ、こんな弱いものを、助けてくださる創造主なる神に信頼をおいているのです。(写真真ん中のM兄)



十一月

- 二日 塗り絵・工作教室「粘土で作ろう②」
- 九日 ホームスクーラーの集い
- 十五日 高校卒業程度認定試験(H)
- 十五日 英語技能検定三級二次試験(N)
- 十九～二十一日 白馬セミナー
- 二十一～二十三日 長野キリスト集会訪問
- 二十四日 お作法教室(茶道)

初めてのL I T

N

今年も白馬セミナーに行きました。しかし、私にとって、今年の白馬は今までとは違う体験をしました。

なぜなら、今年からL I Tとして参加したからです。毎年、兄と姉がL I Tとして、子どもたちの世話をしている方たちの助けとして手伝っているのを見て、「やってみよう！」と思っていました。

L I Tではお菓子を配ったり、ミニ運動会の際は物を運んだり幼児の世話もしました。

L I Tは手伝うだけじゃありません。L I Tのために特別に聖書の話をしてくださいました。神様のことを伝えることがどんなに大切なかを教えてくれました。そう語ってくれた人が本当に神様のために生きている人で模範を見せてくれて、心に強く残りました。

L I Tの友達もいっぱいできました。もっと、訓練されていきたいです。

ピザ作り

11月9日、ホームスクーラーたちが熊取のI家に集まりました。ご主人のIさんお手製のピザ窯がフル回転。宣教師の方に教えていただいたノルウェー風ピザ40枚を焼きました。我が家のお気に入りミートソース+チーズのピザでした。



今年のL I Tは40人以上！おなじみの赤いTシャツが目立ちます。

六回目の白馬セミナー

R

私は毎回楽しみにしている白馬に行きました。一年に一回しか行けないので大切な時です。

今回は雪は積もっていませんでした。でもすごい高い山を登りました。すごく急な坂でびっくりしました。

チルドレンミニストーリーでは、運動会や工作や歌を歌ったりしました。運動会はしよう**害物競走がむずか**かったです。私は黄色チームでした。緑チームと同点になったのでじゃんけんで決めました。最後は私のチームが勝ちました。歌は「さんび喜びさんび」と「わたしを満たす十字架」という**歌をお母さんとお父さんの前で大きな声で歌**いました。

聖書のお話もスライドを使ってナタンさんがやってくれました。

チアのスタッフの皆さんにはお世話になりました。来年も絶対行きたいです。

編集後記

あつという間に今年もあと一カ月。コル・シヤロームは十一月に長野に赴き、一足早いクリスマスコンサートを実施。(伴奏はHです。)Mは、チアの白馬セミナーから直接長野集会に向かい、音響の手伝いをしました。これからはさらに忙しい！